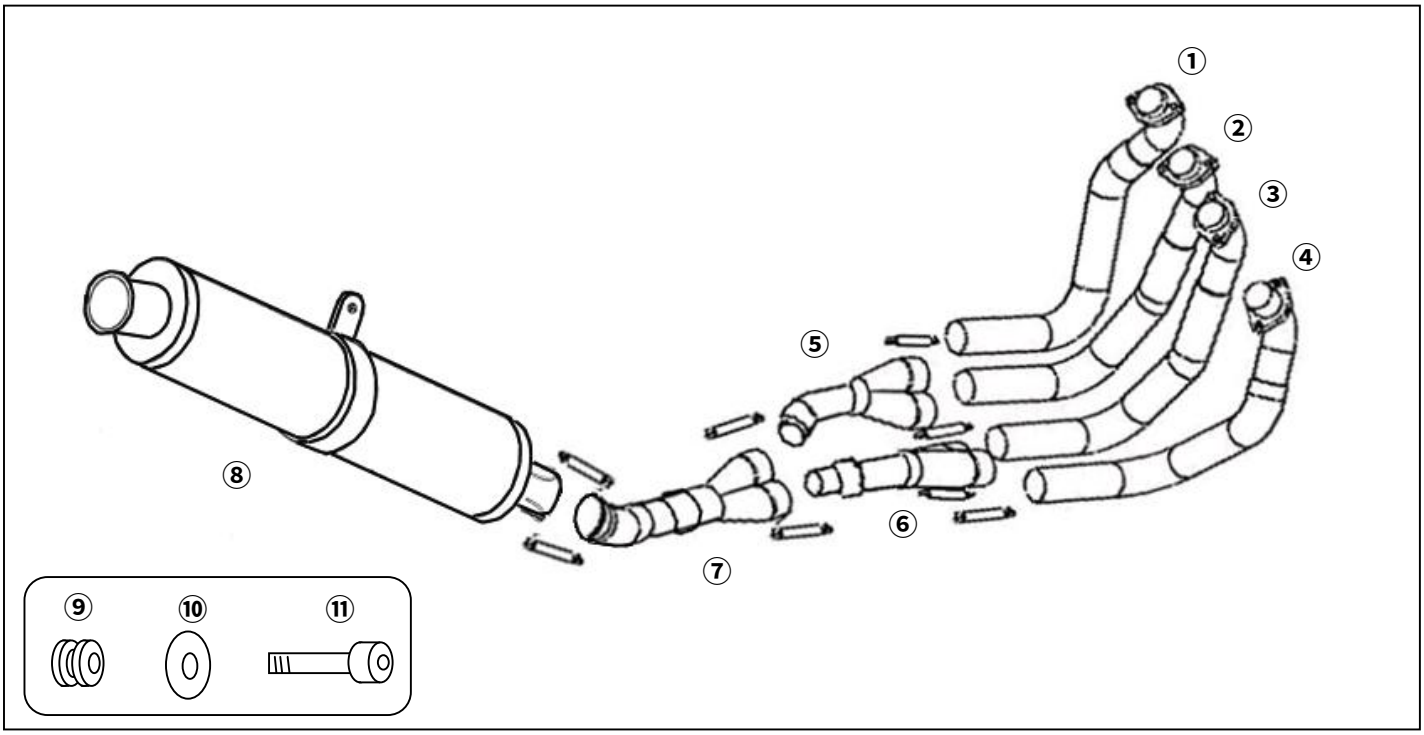
GSX1300R ﾊﾔﾌﾞｻ 08-10
北米(ｶﾅﾀﾞ) 仕様
FASARM GT-DLC 4-2-1

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
マフラーの取り付けに関しましては、メーカー発行のサービスマニュアル及び当説明書をよくお読み頂き、必ずエンジンが冷えた状態で作業を行って下さい。
適合車種は、平成11年及び19年排ガス規制が適用される08- GSX1300R 北米仕様(GX72A)用 となっております。その他の機種（車両型式）には取り付けられません(車検を受けられません)のでご注意下さい。取り付け作業に関して、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。



①純正マフラーを取り外します。
まず純正マフラーを取り外します。マフラー･カウル等の純正パーツの脱着方法に関しましてはメーカー発行のサービスマニュアルの指示に従ってください。
純正マフラーを取り外したの際のボルト･ナット類はノジママフラー取り付けの際使用しますので無くさない様ご注意下さい。

②マフラーを取り付けます。
1) エキゾーストパイプの取り付け
エンジンにエキゾーストパイプを取り付けます。ガスケットは新品を使用して下さい。フランジ部のナットは軽く仮留めの状態（取り付けたパイプが軽く動く程度）にしておいて下さい。（※識別シールは装着後では剥し難いため、番号確認後、組付け前に剥すことをお勧めします。続いて取り付けるパイプに関しても同様に行ってください。）

パーツリスト（梱包内容）

図番	パーツ名	数量
①	エキゾーストパイプ#1	1
②	エキゾーストパイプ#2	1
③	エキゾーストパイプ#3	1
④	エキゾーストパイプ#4	1
⑤	中間パイプ　L	1
⑥	中間パイプ　R	1
⑦	テールパイプ	1
⑧	サイレンサー	1
-	スプリング	8
⑨	アルミカラー	1
⑩	ワッシャー	1
⑪	ボルト	1

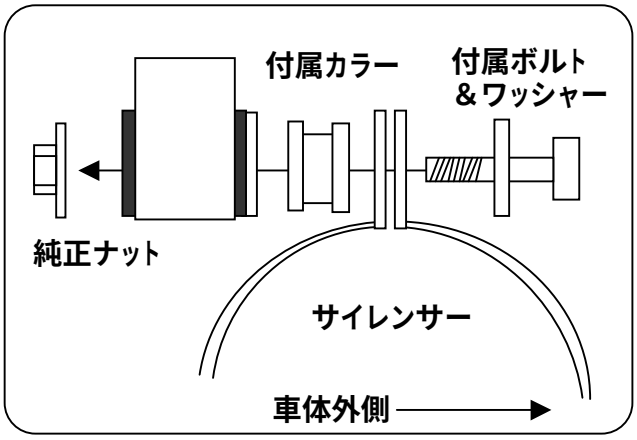
2) 中間パイプ、テールパイプの取り付け
中間パイプにエキゾーストパイプを注意して差込んでください。中間パイプはオイルパンの形状に沿う様な形状になっていますので、下からオイルパンにかぶせる様に持ち上げた状態でエキゾーストパイプを前から差し込む様な感じになります。入りにくい場合は、エキゾーストパイプのフランジを更に緩め、少しずつずらしながらマフラー全体を揺するようにして押し込んでいくと入り易くなります。次にテールパイプを中間パイプへ差し込み、最後に各部にスプリングを掛けます。

※排気漏れ防止の為、各差込み部には液体ガスケット等を用いる事をお勧めします。

3) サイレンサーバンドの組み付け
サイレンサーバンドにバンドゴムを組み付け、肉抜きの無い部分が内側になる様にサイレンサーバンドをサイレンサーに組み付けます。

4)サイレンサーの取り付け
テールパイプにサイレンサーを差し込みスプリングを掛けます。
純正マフラーと同じ位置に付属のボルト/ワッシャー/カラー
及び純正ナットを使用してサイレンサーを仮止めして下さい。

5) 本締め･O2センサー取り付け。
車体各部との干渉がない事を確認し、調整を行いながら
フランジ部のナットを本締めします。この際、フランジ部が
傾かない様、左右のナットは均等に締め込んで下さい。
締め込み具合により集合部やパイプの位置が動いて車体とのクリアランスが変わる場合がありますので注意しながら作業を行い、必要があれば調整しながら締めこんで下さい。
次に、サイレンサーのボルトナットを本締めします。
最後に、中間パイプのセンサーボスにセンサーを取り付けます。
ハーネスがねじれない様注意して下さい。



模式図の為、実際の部品とは形状が異なる場合があります

③カウル類の装着及び最終確認
カウルが外れた状態で再度車体への干渉がない事を確認し、エンジンを始動して排気漏れ等の無い事を確認します。必要があれば修正を行って下さい。次にカウル類を取り付け、各部に干渉が無い事を確認して下さい。以上で作業は終了です。(⑥中間パイプRのラバーブッシュ部分はカウルに当っていても問題はありません)

※パイプに手の皮脂(指紋)等が残ったまま熱が加わると、焼けムラの原因になります。十分脱脂を行って下さい。
※サイレンサー表面はコンパウンド等で磨くと磨き跡が残る場合がありますので注意してください。
※マフラー装着後初期の段階で、⑥中間パイプのラバーブッシュ付近から煙が発生する場合がありますが、これはラバーブッシュ製造時の油分が排気熱で熱せられて蒸発したものですので特に心配はございません。しばらくすると煙は出なくなります。

④セッティングについて
このマフラーは基本的にスタンダードの状態で性能を発揮できるよう設計されておりますので、特別なセッティングは必要ありません。(セッティングを詰める事でより良い結果が得られる場合はあります)

注意！
走行中や走行後、マフラーは非常に高温になります。特に当マフラーは排出ガス浄化の目的で、中間パイプ部/テールパイプ部に触媒を使用しており、従来のマフラーに比べ更に高温になりますので、より一層の注意が必要です。火傷や衣類･靴等の熱害･損傷へには十分お気をつけ下さい。又、駐車の際は他の人が触れない事に配慮下さい。

- グラスウール(消音材)は消耗品です。主な消耗の例としては、「排気圧によるグラスウールの飛散」、「カーボン(スス)の堆積による目詰まり」、「水分を含む事による消音能力の低下」、等があり、消耗の進み方は走り方や環境によって大幅に変わります。グラスウールの飛散はほぼ使用期間に比例しますが、その他のケースは使用状況によってはごく短期間で発生する場合もあります。主な原因は吸気系/点火系の不具合や乗り方によるカブリ症状から起こるカーボンの堆積、雨水や燃焼時の水分が排出されずにいる事から起こる水分の滞留などです。カーボンの発生は定期的なメンテナンスやカブらせない乗り方を意識する事で防ぐ事ができ、サイレンサー内に一時的に溜まった水分は、高回転域を使用する事で蒸発→排出されますので、定期的に適度に回して乗る事で解消する事ができます。(スピード違反を推奨するものではありません。安全に法令遵守の範囲でお願いします。)
  グラスウールが消耗した状態での走行は周囲の迷惑になるだけでなく、マフラー及び車両の故障に繋がる場合がありますので、音量の増加等、グラスウール消耗の症状が表れた際はサイレンサーのオーバーホールサービス(有償)をご利用ください。
- 走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷にお気を付け下さい。
- シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。
- 本製品はＪＭＣＡの認定を受け、排気ガス検査成績書を付属しております。車検時に必要となる大切な書類ですので無くさないように注意して管理してください。
- 転倒等に伴う修理に関しましては、状態によりお受けできる場合と出来ない場合がございます。電話･メール等にてお問合せ下さい。その他ご不明な点ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

ＮＯＪＩＭＡ　ＥＮＧＩＮＥＥＲＩＮＧ
〒513-0825　三重県鈴鹿市住吉町7265-7　TEL：059(378)3505　FAX：059(370)7811
MAIL：info@nojima-japan.co.jp